

Ferdinand

Hodler

Towards Rhythmic Images

日本・スイス国交樹立150周年記念
フェルディナント・ホドラー展

2014年10月7日[火]—2015年1月12日[月・祝] 国立西洋美術館

主催：国立西洋美術館、NHK、NHKプロモーション 共同企画：ベルン美術館 後援：外務省、スイス大使館 特別協力：ジュネーヴ美術・歴史博物館

協賛：スイス・リー・グループ、大日本印刷、中外製薬 助成：スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

協力：スイス政府観光局、スイス インターナショナル エアラインズ、ネスレ日本、ルフトハンザ カーゴ AG、ユングフラウ鉄道グループ、西洋美術振興財団

*東京会場出品作品のみ記載

(59, 70, 73, 74, 92, 93は神戸会場のみ)

PART 1

光のほうへ—初期の風景画

001

自画像

1873年(自画像)、1878年(風景)
ジュネーヴ美術・歴史博物館

002

シャタウ城とシェルツリンゲン教会、
ブリュームリスアルプ山

1871年
ベルン美術館

003

山小屋とアイガー山、メンヒ山、
ユングフラウ山

1872年
ベルン美術館

004

インターラーケンの朝

1875年
ベルン美術館

005

スペインの風景

1878 | 79年
スイス、個人蔵

006

レマン湖畔の柳

1882年頃
ヴァンタートゥール美術館

007

柳

1891年頃
スイス、個人蔵

008

小さなプラタナス

1890年頃
ジュネーヴ美術・歴史博物館

009

プティ・サレーヴ山麓

1890年頃
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

010

マロニエの木々

1889年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

PART 2

暗鬱な世紀末?—象徴主義者の自覚

011

怒れる人(自画像)

1881年
ベルン美術館

012

死した農民

1876年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

013

ベルン州での祈り

1880 | 81年
ベルン美術館

014

サン=ピエール大聖堂での祈り

1882-85年頃
ヴァンタートゥール美術館

015

ルイーゼ=デルフィーヌ・デュショール
の肖像

1885年
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

016

ラルデの娘の肖像

1878年
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

017

病み上がりの女

1880年頃
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

018

思索する労働者

1884年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

019

アハシエロス(永遠のユダヤ人)

1886年
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

020

読書する老人

1885年
ヴァンタートゥール美術館

021

《絶望せる魂》の右から二番目の人物像
のための習作

1891 | 92年
ベルン美術館

022

《絶望せる魂》の右から二番目の人物
像のための習作

1891 | 92年
ベルン美術館

023

傷ついた若者

1886年
ベルン美術館

PART 3

リズムの絵画へ—踊る身体、動く感情

024

オイリュトミー

1895年
ベルン美術館

025

感動

1894年
ベルン美術館

026

《女性のオイリュトミー》の習作：
側面観のふたりの着衣の女性立像

1895-96年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

027

感情 III

1905年
ベルン州美術コレクション

028

昼 III
1900 | 10年頃
ルツェルン美術館

029

4人の男性像スケッチ(《昼》の習作)
1880 | 90年代
ベルン美術館

030

3人の女性像による《昼》の構図習作
1898 | 99年
ベルン美術館

031

4人の女性像による《昼》の構図習作
1898 | 99年
ベルン美術館

032

《昼》の習作
1899-1900年
チューリヒ、コーニンクス財団

033

《昼》の構図習作
1899年
チューリヒ、コーニンクス財団

034

感嘆
1903年頃
ベルン美術館

035

春 III
1907-10年頃
スイス、個人蔵

036

タバの休息
1904-05年頃
ヴァンタートゥール美術館

037

遠方からの歌 III
1906-07年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

038

歩む女
1910年頃
スイス、個人蔵

039

悦ばしき女
1910年頃
ベルン美術館

040

《悦ばしき女》の3人像の習作
1909年頃
ベルン美術館

041

恍惚とした女
1911年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

042

《恍惚とした女》の人物像習作
1910 | 11年
ベルン美術館

PART 4

変幻するアルプス—風景の抽象化

043

レマン湖とジュラ山脈(風景の形態リズム)
1908年頃
アールガウ州立美術館

044

シェーブルから見たレマン湖
1905年頃
ジュネーヴ美術・歴史博物館

045

トゥーン湖とニーセン山
1910年
スイス、個人蔵

046

シャンペリーで見る風景
1912 | 16年
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

047

シャンペリーで見るダン・ブランシュ
1916年
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

048

雲のあるメンヒ山
1911年
スイス、個人蔵

049

ミュレンから見たユングフラウ山
1911年
ヴァンタートゥール、オスカー・ラインハルト美術館
アム・シュタットガルテン

050

ミュレンから見たユングフラウ山
1911年
ベルン美術館

051

ミュレンから見たユングフラウ山
1914年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

052

トゥーン湖とシュトックホルン山脈
1910年
チューリヒ、コーニンクス財団

053

夕暮れのトゥーン湖とシュトックホルン山脈
1910年
スイス、個人蔵

054

冬のトゥーン湖とシュトックホルン山脈
1912年
ベルン美術館

055

冬のトゥーン湖とシュトックホルン山脈
1912 | 13年
UBS美術コレクション

056

トゥーン湖と雲の中のシュトックホルン山脈
1912年頃
スイス、個人蔵

057

シャンペリーの溪流
1916年
ヴァンタートゥール美術館

058

シャンペリーの溪流
1916年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

PART 5

リズムの空間化—壁画装飾プロジェクト

060

《マリニャーノからの退却》中央部のための構図習作
1897 | 98年
ベルン美術館

061

《マリニャーノからの退却》中央部のための構図習作
1897 | 98年
ベルン美術館

062

《マリニャーノからの退却》の鉾槍兵
ジュネーヴ美術・歴史博物館

063

《独立戦争に向かうイエーナの学徒出陣》のための習作
1907-08年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

064

独立戦争に向かうイエーナの学徒出陣
1907-08年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

065

《全員一致》のための人物像習作
1911-12年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

066

《全員一致》のための習作
1913年
スイス、個人蔵

067

全員一致
1912年
チューリヒ、コーニンクス財団

068

《全員一致》のための構図習作
1912-13年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

069

《ムルテンの戦い》の第一習作
1915年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

071

《ムルテンの戦い》のための構図習作：
画面上部の走る馬たちとの合成
1916年頃
ベルン美術館

072

《ムルテンの戦い》中央部のための
構図習作
1917年頃
ジュネーヴ美術・歴史博物館

075

《ムルテンの戦い》のための習作：
矛槍を振り上げた兵士
1915-17年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

076

木を伐る人
1910年
ベルン、モビリアール美術コレクション

077

草を苜る人
1910年頃
ベルン美術館

PART 6

無限へのまなざし—終わらないリズムの夢

078

《無限へのまなざし》のための単独像
習作
1913-15年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

079

《無限へのまなざし》のための単独像
習作
1915年
UBS美術コレクション

080

《無限へのまなざし》のための単独像
習作(1)
1917年頃
ベルン州美術コレクション

081

《無限へのまなざし》のための単独
習作
1913年頃
スイス、個人蔵

082

《無限へのまなざし》のための単独像
習作(2)
1917年頃
ベルン州美術コレクション

083

《無限へのまなざし》のための人物像
習作
1911 | 13年
ベルン美術館

084

《無限へのまなざし》のための人物像
習作
1910 | 13年
ベルン美術館

085

《無限へのまなざし》のための人物像
習作
1910 | 13年
ベルン美術館

086

《無限へのまなざし》のための5人像
による構図習作
1914年頃
ジュネーヴ美術・歴史博物館

087

《無限へのまなざし》のための習作
1914年
ベルン美術館

088

《無限へのまなざし》のための人物像
習作：立像の裸婦と正面向きの着衣
の女性立像
1913-16年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

089

《無限へのまなざし》のための単独像
習作
1916年
和光清氏蔵

090

《無限へのまなざし》のための習作：
手と足
1913-16年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

091

《開花》のための習作：運動する
ふたりの女性像
1917年頃
ジュネーヴ美術・歴史博物館

PART 7

終わりのとき—晩年の作品群

094

バラのある自画像
1914年
シャフハウゼン万聖教会博物館

095

ヴァランティーヌ・ゴデ=ダレルの肖像
(パリジェンヌ II)
1909年
ベルン美術館

096

ヴァランティーヌ・ゴデ=ダレルと揺り
かごの中のポーレット
1913年
ベルン美術館

097

《ポーレットを抱くヴァランティーヌ・
ゴデ=ダレル》の側面観の肖像習作
1914年
ベルン美術館

098

《病のヴァランティーヌ・ゴデ=ダレル》
の左側面観の頭部習作
1914年12月23日
ベルン美術館

099

《病のヴァランティーヌ・ゴデ=ダレル》
の正面左向きの頭部習作
1915年
ベルン美術館

100

死にゆくヴァランティーヌ・ゴデ=ダレル
1915年1月21日
ジュネーヴ美術・歴史博物館

101

バラの中の死したヴァランティーヌ・
ゴデ=ダレル
1915年
チューリヒ、コーニンクス財団

102

早朝のレマン湖とモンブラン
1916年
スイス、個人蔵

103

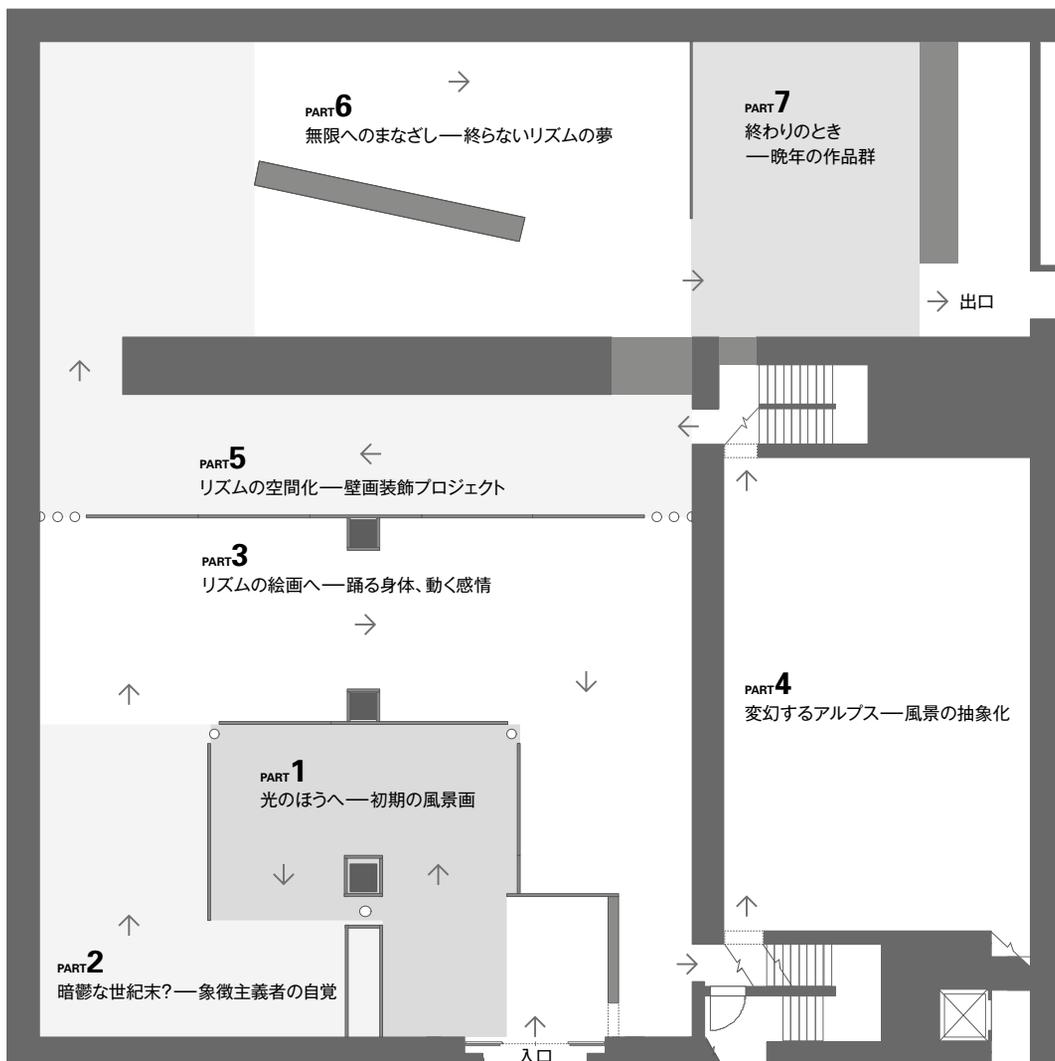
白鳥のいるレマン湖とモンブラン
1918年
ジュネーヴ美術・歴史博物館

104

午後レマン湖とモンブラン(3月)
1918年
スイス、個人蔵

105

緑のジャケットの自画像
1917年
スイス、個人蔵



*展示会場の温度、湿度、照明は、作品保護に関する国際的基準と慣例、および所蔵美術館の貸出条件にしたがって厳密に管理されています。ご来館の方々にとって理想的と感じられない場合もあるかと存じますがご容赦願います。

*隣り合う作品の大きさや壁面とのバランスなど、展示の視覚的效果を考慮したため、ネームプレートの作品番号と展示の順番が異なる場合がございますのでご注意ください。